

一般競争入札案件の積算ミスによる入札不調について

令和7年8月18日に行った入札（参加社：4社）の結果、入札不調となった「横断歩道橋塗膜調査業務委託（業務委託期間：契約日から120日間）」について、職員が再度の入札に向けて予定価格の再積算を行ったところ、当初の予定価格の積算時に積算システムへの入力漏れにより経費の算出に誤りが生じ、予定価格を低く設定したことにより、適正な入札が実施できていなかったことが9月9日に判明しました。

関係者に御迷惑をお掛けしまして大変、申し訳ありません。

今後、改めて再設計を行ったうえで、再度入札の手続きを行います。再入札による業務委託は今年度内に完了する見込みであり、本件の入札不調による影響はない見込みとなっております。

1 委託名

横断歩道橋塗膜調査業務委託

2 履行場所

川崎市内（調査箇所数：31橋）

3 本業務の履行期間

契約日（当初の契約予定日は令和7年8月22日）から120日間

4 内容

予定価格内の入札がなかったことにより入札不調となった本業務について、建設緑政局施設維持課の職員が、再度の入札に向けて予定価格の再積算を行ったところ、積算システムへの入力漏れにより人件費の一部が経費計算に反映されていないことが9月9日に判明しました。これにより、8月18日に行った当初の入札において、予定価格が誤って低く設定され、適正な入札が行えていなかったことを確認しました（予定価格の誤りが生じなければ入札は成立していました。）。

積算システムへの入力漏れの原因については、担当者が失念したことに加え、所属長等においてもチェックできなかったものです。

5 経過

令和7年7月17日（木） 入札公告

令和7年8月18日（月） 入札・開札・不調（入札参加4社）

令和7年9月9日（火） 当初の予定価格の積算内容に誤りがあることが判明

令和7年9月10日（水） 入札者へ事情を説明

6 影響

本業務は令和7年度内での完了が必要ですが、再入札による業務委託は今年度内に完了する見込みであり、本件の入札不調による市政への影響はない見込みです。

7 今後の対応・再発防止

今後の対応につきましては、再設計を行ったうえで、再度入札の手続きを進めてまいります。

再発防止につきましては、本事案が、通常、実施すべき設計審査が適切に行われなかったものであることから、設計担当者および審査担当者を対象とした研修等を実施し、業務に対する意識向上を図るとともに、同様の業務を担当する各部署に対しても、過去のミス事例や当該事例の内容と原因を説明して情報を共有し、再発防止に向けた意識の向上と業務の適正化を図ってまいります。

問合せ先

川崎市建設緑政局道路河川整備部施設維持課 鈴木

電話 044-200-2818